

【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第22回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 : AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

整備新幹線の建設・保有を一手に担うほか、民間鉄道の建設や内航船舶の共有建造といった業務を手がけており、運輸行政の執行機関として政策上の重要性が高い。整備新幹線は中核都市間を結ぶ大量・高速の交通機関として国民経済に不可欠な社会的インフラであり、建設資金はJRへの貸付料、既設新幹線の譲渡収入、国・自治体からの補助金・負担金という返済の必要のない資金でまかなわれている。2009年度の政府予算案における整備新幹線の整備事業費は過去最大の3539億円になっている。機構は2010年度末完成を目指している九州新幹線（博多―新八代間）などの建設を進める予定。

鉄道建設業務のうち、一部の第3セクター鉄道会社向け債権は回収が当初計画通りに進んでおらず、返済条件の緩和に応じているほか、船舶共有建造業務は中小の内航海運業者に対し多額の未収金を抱えている。ただ、こうした問題については国などと一体となって解決に取り組んでおり、第3セクター鉄道会社向け債権残高、内航海運業者向け未収金残高はともに減少している。船舶共有船業務を抱える海事勘定の債務超過額は2007年度末には156億円（前年度は208億円）まで改善している。なお、2007年12月の独立行政法人整理合理化計画でも組織の改廃や事業の大きな見直しはなかったが、独立行政法人に関する政策が変化する可能性については引き続き注意を払っていく。

【格付け対象】

発行者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第22回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	180億円
発行日	2009年2月20日
償還日	2013年3月19日
表面利率	1.03%
格付け	AA（新規）
受託会社	みずほコーポレート銀行
担保	一般担保
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に 基づく受託会社が置かれる

☆発行体格付け：AA [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務（債券やローンなど）の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。